

環境衛生課からの お知らせ

環境センターからのお願い
ごみの減量にご協力ください

現在、環境センターでは、焼却設

備の改修により燃えるごみの処理能力が大幅に低下しています。住民の皆さまには大変ご迷惑をおかけしますが、生ごみの水きりや分別の徹底による再資源化など、引き続きごみ減量にご協力をお願いします。

また、町には生ごみを利用して堆肥に変えるコンポストを無償貸与す

家庭から出る 燃えるごみの収集量

令和2年(2020年)6月/約300トン
前年同月/約275トン

有田川町の家庭から出る燃えるごみや燃えないごみは環境センターで処理されており、その運営費の一部を分担金として支払っています。分担金はごみ搬入量と人口に基づいて計算されます。

生ごみの水切りやコンポスト容器の利用など、ごみ減量によって環境にも町財政にもエコな暮らしを目指しましょう。

環境衛生課(吉備庁舎)
清水行政局 建設環境室

「ごみ分別すれば資源」

る制度があります。家に菜園がある方や、近くに畑がある方はぜひこの制度を利用して、ごみの減量にご協力ください。

生ごみ処理容器コンポストの無償貸与

●対象者/コンポスト容器の有効活用・維持管理ができ、後日町からの

簡単なアンケートに答えられる方

●貸出数/1世帯または1事業所に

2基まで

●その他/環境衛生課(吉備庁舎)または清水行政局建設環境室まで

直接受け取りに来てください。申請には印鑑が必要です。

ふるさと見守り隊が 今年度も活動中

有田川町では、山間地や河原への不法投棄が多発し、美しいふるさとの景観を損なっています。

そこで昨年度から、夏場にキャンプ客などが多く訪れる地区を中心に、河川周辺のごみの巡回・回収を

「ふるさと見守り隊」としてシルバー人材センターに委託しています。

この活動により、不法投棄の抑制、美しいふるさとの環境保全を図ります。なお、この委託費はふるさと応援基金(ふるさと納税で賜った寄付金)を活用しています。

酸性雨調査の結果

環境問題となつてきている酸性雨について調べるため、令和元年度(2019年度)に町内3カ所で降水水質の分析を行いました。

酸性雨は石油などの化石燃料を燃

やすときに発生する二酸化炭素・窒素酸化物などが大気中で化学変化を起し雨に溶け込んだもので、樹木や魚などの生き物、建造物に影響を及ぼします。酸性の度合いはpH(水素イオン濃度)で表され、pH5.6以下を酸性雨といい、pHの値が低いほど酸性度は高まります。

分析した結果、酸性度が高い数値を記録している日がありました。pHは気象などのさまざまな要因により左右されるので、今後も調査を継続します。

令和元年度(2019年度)酸性雨水質調査結果表

降水量単位: mm

調査日	吉備庁舎		小島公民館		金屋文化保健センター	
	pH	降水量	pH	降水量	pH	降水量
H31	4月23日	6.3 43	5.4 53	5.5 39		
R1	5月7日	5.4 94	5.3 91	5.2 69		
	5月21日	6.3 130	5.9 160	6.1 96		
	5月29日	6.0 30	5.6 40	5.8 28		
	6月10日	5.5 120	5.3 110	5.5 82		
	6月24日	5.4 25	5.4 25	5.2 25		
	7月4日	5.8 160	5.3 130	5.4 130		
	7月24日	5.6 >190	5.2 170	5.2 190		
	8月16日	6.3 >190	5.5 360	5.7 190		
	8月29日	5.2 110	5.0 99	5.0 95		
	9月10日	5.1 62	5.4 67	5.4 38		
	9月27日	5.8 95	5.5 100	5.7 78		
	10月29日	5.7 >190	5.9 170	5.7 180		
	11月14日	4.3 10	4.5 8	4.4 9		
11月28日	4.8 24	4.8 23	5.2 21			
12月06日	5.7 28	6.0 24	6.2 21			
12月23日	5.8 27	5.8 24	6.4 22			
R2	1月9日	5.4 63	5.6 43	6.5 44		
	1月30日	5.6 83	5.6 67	5.9 67		
	2月17日	5.2 38	5.1 29	5.3 27		
	2月26日	5.9 24	5.5 17	5.6 15		
	3月12日	5.2 73	5.2 58	5.3 63		
3月30日	5.2 62	5.5 54	5.2 53			

※降水量について/調査日における前回調査日からの降水量。
「>190」は190mmより多いことを示す。